

## 令和7年度 教職大学院

## 【児童理解・生徒指導等に関する筆記試験】(90分)

(解答は別に配る用紙に書いてください。)

教職大学院 I期入試

(特別選抜I・特別選抜II、教職経験10年以上)

「第4期教育振興基本計画(令和5年6月16日閣議決定)リーフレット」では、資料1にあるように、「2つのコンセプト」のうちの1つとして、「日本社会に根差したウェルビーイングの向上」を掲げています。これを受けて、資料2の「教育とウェルビーイング」では、教育活動全体を通じたウェルビーイングの向上に向けた「各要素を含む教育活動の例」の1つとして、「多様なニーズへの対応と社会的包摂による共生社会の実現に向けた学び・生徒指導ー特別支援教育、いじめ・不登校対応等」が示されています。

資料1及び資料2を参考にしてこれらのことを踏まえた上で、以下の1~3についてあなたの考えを記述しなさい。

1. ウェルビーイングの向上という視点での、自校の生徒指導上における現状と課題について、いくつかに整理して記述しなさい。
2. 1で挙げた現状と課題の改善に向けて、必要だと考える具体的な取組について記述しなさい。
3. 2で挙げた具体的な取組を、チーム学校によって進めていくために、ミドルリーダーとして、どのような働きかけをしていくことが必要だと考えるか記述しなさい。

(注)

- ・解答に文字数の制限はないが、別紙の解答用紙に収めること。
- ・解答は、1~3の区別や関連がよりよく伝わるように各自工夫して記述すること。

引用文献

文部科学省『第4期教育振興基本計画(令和5年6月16日閣議決定)リーフレット』 pp.2-3.



## 【資料1】 2つのコンセプト

### 持続可能な社会の 創り手の育成

- 将来の予測が困難な時代に、未来に向けて自らが社会の創り手となり、持続可能な社会を維持・発展させていく人材を育てる
- 主体性、リーダーシップ、創造力、課題設定・解決能力、論理的思考力、表現力、チームワークなどを備えた人材の育成

### 日本社会に根差した ウェルビーイングの向上

- 多様な個人それぞれが幸せや生きがいを感じるとともに、地域や社会が幸せや豊かさを感じられるものとなるよう、教育を通じてウェルビーイングを向上
- 幸福感、学校や地域でのつながり、協働性、利他性、多様性への理解、社会貢献意識、自己肯定感、自己実現等を調和的・一体的に育む

### ウェルビーイングとは

- 身体的・精神的・社会的に良い状態にあることをいい、短期的な幸福のみならず、生きがいや人生の意義などの将来にわたる持続的な幸福を含む概念。
- 多様な個人がそれぞれ幸せや生きがいを感じるとともに、個人を取り巻く場や地域、社会が幸せや豊かさを感じられる良い状態にあることも含む包括的な概念。

### 日本初・日本社会に根差したウェルビーイングの向上

日本の社会・文化的背景を踏まえ、我が国においては、自己肯定感や自己実現などの獲得的な要素と、人とのつながりや利他性、社会貢献意識などの協調的な要素を調和的・一体的に育み、日本社会に根差した「調和と協調」に基づくウェルビーイングを教育を通じて向上させていくことが求められます。

個人が獲得・達成する  
能力や状態に基づく  
ウェルビーイング  
(獲得的要素)

- ・ 自己肯定感
- ・ 自己実現 など

人とのつながり・関係性に  
基づくウェルビーイング  
(協調的要素)

- ・ 利他性
- ・ 協働性
- ・ 社会貢献意識 など

両者を調和ある形で一体的に向上させていくことが重要

## 【資料2】 教育とウェルビーイング

- 不登校やいじめ、貧困など、コロナ禍や社会構造の変化を背景として子供たちの抱える困難が多様化・複雑化する中で、一人一人のウェルビーイングの確保が必要
- 子供・若者に、つながりや達成などからもたらされる自己肯定感を基盤として、主体性や創造力を育み、持続可能な社会の創り手の育成を図る必要
- 地域における学びを通じて人々のつながりやかかわりを作り出し、共感的・協調的な関係性に基づく地域コミュニティの基盤を形成

### 教育に関連するウェルビーイングの要素

自己肯定感

心身の健康

幸福感

協働性

社会貢献意識

学校や地域でのつながり

自己実現

安全安心な環境

多様性への理解

利他性

サポートを受けられる環境

### 教育活動全体を通じたウェルビーイングの向上

### 各要素を育む教育活動の例

個別最適な学びと協働的な学びの一体的充実  
 ー子供たちの多様な状況に応じた学習者主体の学び  
 ーきめ細やかな指導を通じた確かな学力の育成

多様なニーズへの対応と社会的包摂による共生社会の実現に向けた学び・生徒指導  
 ー特別支援教育、いじめ・不登校対応 等

地域や家庭で共に学ぶ合う環境整備  
 ーコミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進  
 ー社会教育を通じた地域コミュニティ形成

キャリア教育・職業教育、課題解決学習  
 ー社会的・職業的自立に向けたキャリア発達  
 ー地域や社会の課題解決型学習

豊かな心・健やかな体の育成、安全・安心  
 ー道徳教育、体験活動、学校保健の推進  
 ー学校施設の整備、学校安全の推進

グローバル社会における国際交流活動  
 ー海外留学推進、外国人留学生受け入れ  
 ー地域社会の国際化、多文化共生

### 主観的認識のエビデンス把握

※ 文部科学省 第4期教育振興基本計画リーフレットP3の内容の一部より